

A smiling woman wearing a red sari with white patterns and a red bindi on her forehead. She is standing in a doorway, looking towards the camera. The background is a plain, light-colored wall.

**MAKE A
SPLASH!**

LIXIL
IN PARTNERSHIP WITH
unicef

衛生環境を すべての人びとに

「MAKE A SPLASH!」

2022-2023年
パートナーシップ
進捗報告書〈要約版〉

概要

ユニセフ(国際連合児童基金)と LIXIL が「MAKE A SPLASH!」(以下MaS!)というこれまでに類を見ないパートナーシップを開始したのは2018年のことでした。両者の強みを生かしながら、SDGs6.2達成の障壁を取り除き、衛生環境の改善に向けた取り組みを加速する本パートナーシップでは、始まってから3年間でエチオピア、ケニア、タンザニアで290万人の衛生環境の改善に貢献しました。2022年には、その実績を足掛かりにインド、インドネシア、ナイジェリアを含む6カ国の子どもたちやその家族へと活動範囲を拡大し、一年で560万人が衛生設備を利用できるようになりました。

2022年、衛生市場の強化に向け、より大規模な活動を展開したことにより、少なくとも基本的な衛生設備を利用できるようになった人は年計290万人に達しました^{*1}。これにはSATO約6万台とその他衛生製品の販売

によって直接的な影響を受けた73万4,900人と、ユニセフの衛生市場を強化する活動によって間接的に環境が改善した220万人が含まれます。

130万人が基本的な手洗い設備を利用できるようになることが世界的なターゲットとして定められています。MaS!では既に270万人の手洗い環境を改善しています。この数字には、少なくとも基本的な手洗い設備を利用できるようになったタンザニアのイリング、ムベヤ、ヌジョンベ、ソングウェ、ザンジバル地域の約82万人が含まれます。MaS!ではさらに、学校の衛生環境を改善しました。

ケニアのムインギ北部にある10校で「学校トイレ改善プログラム」(STEP)を先行実施し、生徒3,718人に恩恵をもたらしました。このプログラムでは子どもたちの



学校で清潔なトイレが使えるようになって喜ぶダンカンさん(リゴセ小学校 ケニア・シアヤ郡 2019)

1 うち190万人が安全に管理された衛生設備を利用しています。安全に管理された衛生設備とは、排泄物が他と接触しないように分けられている、あるいは、別の場所に運ばれて安全で衛生的に処理される設備を備えている、他の世帯と共有していない改善された衛生設備と定義されています。



オリッサ州サンバルプルのニラドゥングリ村では、ユニセフとLIXILのSATO事業部参加のもと、地域住民と水まわりの改修作業に取り組んでいます。

衛生環境に直接貢献すると同時に、SATOのトイレの有用性を地域社会に広めることを目的としています。

SATOの衛生製品約12万8,000台が新たに利用されるようになったことが衛生への直接的なアクセス向上に寄与しました。これには、配布されたSATO Tap約6万台、販売されたSATOスツール6,000台、オリッサ・パン1,000台、SATOパン6万1,000台（エチオピアで2万6,000台、ケニアで1万7,000台、タンザニアで1万4,000台）が含まれます。

全6カ国で約32万4,000人もものステークホルダーが、それぞれの市場に根ざした、安全な衛生管理について研修を受けました。その一例に、約25万人のインドの女性自助グループ参加者が水と衛生 (WASH) に関連する融資の研修を通じ、自宅の衛生設備の改善を目的とした少額融資の啓発を受けました。

また、これらの国々では、さまざまな仕組みの利用促進と協力機関の後ろ盾により、衛生製品の購入を支援する消費者向けの融資は総額約240万米ドルに至りました。全世界で公的資金約41万7,000米ドルが衛生環境を直接改善するために当てられましたが、インドはそのうちの34万1,000米ドルを投じています。

ユニセフとLIXILは連携することで、それぞれの市場でさまざまな課題を乗り越え、大きな成果をあげることができました。国によって異なるものもあれば、複数の国でいくつか共通する課題もありました。まず、町の中心部から分断されたサプライチェーンが、「ラストワンマイル」(最後の1マイル)に暮らす脆弱な立場にある人びとへの十分な衛生製品供給の妨げとなっているのが共通の課題として挙げられますが、状況に合わせた対応策を用いています。例えば、ケニアでは地域保健ボランティアがMaS!の施工職人研修受講者と物流ネットワークや地域住民との橋渡しをしています。ナイジェリアでは、SATO製品の不足がトイレ事業者や一般家庭への販売を妨げていたことから、パートナーシップは新たな供給ルートの確立に取り組みました。当初は国外で調達し、試験運用のためにLIXILが寄贈していたSATO Tapは、今後ナイジェリア国内で生産、流通するようになります。タンザニアでは、供給が困難だった辺境地域に確実に製品が届くハブ・アンド・スポーク型(大規模拠点に製品を集中させ、そこから各拠点に分散させる輸送方式)のサプライチェーンモデルを採用しました。

多くの国で、衛生環境に対する需要が抑制されていることも課題として挙げられます。衛生設備を改善するため

にかかる時間、労力、コストが不明瞭であることや、対象となる貧困世帯の不安定な収入が影響しています。ケニアでは、対象家庭がキャッシュフローの課題を乗り越えられるよう、MaS!は革新的な融資モデルを開発し、衛生製品の原材料の免税を提言するなどの取り組みを継続しています。また、いくつかの国では、政府や金融機関と連携し、貧困世帯が必要とする衛生製品や素材を購入できるよう、女性自助グループを中心に少額融資を支援しています。

より技術的なレベルでは、適切な浄化槽と汚物除去サービスがないことが、いくつかの国で大きな課題になっています。ナイジェリアでは、パートナーシップがバウチ州の「汚物管理ガイドライン」の策定や検証を支援しています。

MaS!の活動を展開する中で、いくつか重要な教訓が得られました：

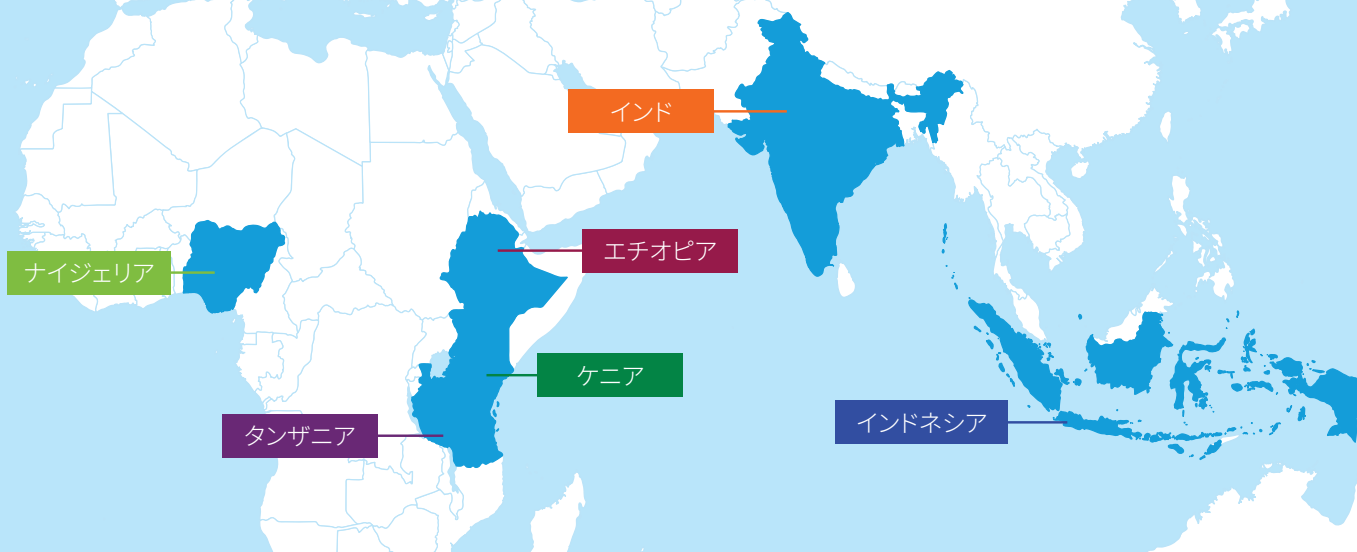
- **衛生のワン・ストップ・ショップの提供：**より優れたトイレのデザインや素材の購入、事業者間の調整など、衛生製品が一カ所ですべて揃うワン・ストップ・ショップは辺境地に暮らす顧客の複雑な購入プロセスをサポートし、衛生環境の整備を促進します。
- **個人向け融資へのアクセス向上：**少額融資を活用することで、個人がトイレを建設・改善できるようになり、一般家庭の衛生環境向上が可能になります。
- **スマートな補助金制度の導入：**極度な貧困状態にある人たちや外的要因によって収入が不安定な最貧困者層の多くは、自ら衛生設備を設置することが適いません。そのため、スマートな公的補助金制度の導入が必要とされています。
- **地域社会のリーダーの協力：**地域社会で衛生環境の整備を促すには、その地域の伝統的・宗教的リーダーの支持や協力が不可欠です。

2023年、MaS!では両者の強みを生かしながら、各国の活動を通じて得られた学びを共有する機会を増やし、衛生設備やサービスの市場を強化する取り組みを継続しています。今後も、各国の優先事項に取り組みながら、前進します。ケニアでは、衛生製品の供給を改善し、公平な利用を推進するために、気候変動に強く、ジェンダーや障がい者に配慮したSATOのオフセットソリューションなどに関する、衛生設備の施工職人の訓練を予定しています。エチオピアでは、銀行や自助グループの協力関係を確立・強化し、丈夫なトイレ設置を支援する少額融資を展開しています。MaS!はWASH関連のローンを優先融資スキームのひとつとして含むよう、エチオピア開発銀行に働きかけています。今後、インドでは衛生従事者の立場や正当性を図るために、施工職人などのWASHサービスプロバイダーに対し、安全に管理された衛生環境について州国家レベルでの研修や専門家認定制度の戦略策定を支援します。最後に、インドネシアではトイレの汚水処理の課題に対処するため、敷地内で汚水処理を可能にする代替技術を用いた安全な管理システムの可能性を探っています。



ユニセフとLIXILは連携して各国の市場の状況や課題に対応することで、このような大きな成果をあげることができました。

「MAKE A SPLASH!」ユニセフ・LIXILパートナーシップ 世界各地のハイライト



2022年、6つの重点対象国におけるMaS!パートナーシップのインパクト:



基本的な衛生設備(トイレ)利用者

290万人

他の世帯と共有していない、改善された衛生施設を利用できるようになった人びと。そのうち、73万5,000人は6万台以上のSATOパンやその他の多数のトイレ製品の販売が直接的な改善に寄与し、220万人は地域保健ボランティアの能力向上や低所得者層の少額融資の促進によって間接的に恩恵を享受。パートナーシップ活動を通じ、合計6万8,000台以上のSATOパンを販売



能力開発・啓発

32万4,000人

各市場に応じ、安全に管理された衛生の研修を受けたステークホルダー



基本的な手洗い設備の利用者

270万人

正しい手洗いに必要な、水と石けんが整った手洗い設備を利用できるようになった人びと。そのうち、少なくとも30万人がSATO Tapを利用



融資総額

240万米ドル

衛生製品の購入支援促進を通じ、投じられた消費者向け融資



© UNICEF/UN0775666/Apochi Owoicho



情報管理システム

10

衛生分野(安全に管理された衛生環境を含む)のデータ・情報システムを強化




政策支援

14件

衛生環境の提供を強化するためにパートナーシップが支援した国と地方自治体の政策文書(ガイドライン、行動計画など)

MAKE A SPLASH! パートナーシップ
ケニア：数字で見るインパクト



衛生設備(トイレ)利用者
17万1,054人

安全に管理されたトイレを利用できるようになった人びと

そのうち、直接的に**11万4,908人**がSATOの衛生ソリューションを活用するようになり、間接的に**5万6,146人**が地域の専門技術・地域保健ボランティアによる研修、金融サービスの公平な利用促進やマーケティング活動を通じて恩恵を享受

基本的な手洗い設備の利用者
15万人

正しい手洗いに必要な、水と石けんが整った手洗い設備へのアクセスが得られた人びと

SATOの販売台数*
2万1,040台

SATO製品台数(パン1万6,868台とスツール4,172台を含む)を販売

政策支援 1件

承認された地方自治体政策文書

能力開発と啓発
2,000人

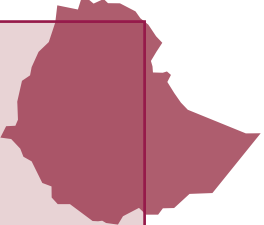
安全に管理された衛生設備のモニタリング、導入や設計を支援する研修を受けたステークホルダー

融資総額
3万2,141米ドル

衛生改善に投じられた公的資金

* 販売台数はMaS!のパートナーシップの活動が影響した地域に限定。それ以外の地域の販売台数は含まない

MAKE A SPLASH! パートナーシップ
エチオピア：数字で見るインパクト



衛生設備(トイレ)利用者
22万7,640人

SATOの利用を通じ、安全に管理されたトイレが利用できるようになった人びと(新たな補助金によって**9万7,900人**、ケニア向け製品を通じて**12万9,740人**)

基本的な手洗い設備の利用者
750人

正しい手洗いに必要な、水と石けんが整った手洗い設備にアクセスできるようになった人びと

SATOの販売
2万5,948台


購入されたSATOパン

政策支援 4件

ユニセフの支援を受けた国・地方自治体の政策手段

融資 1つ

パートナーシップによって提供されるようになった消費者向け融資の仕組み



© UNICEF/UN0803915/Pouget

MAKE A SPLASH! パートナーシップ

インド：数字で見るインパクト



衛生設備(トイレ)利用者

111万7,143人

ビハール州政府およびオリッサ州政府による戦略的介入を通じ、他の世帯と共有していない、改善された衛生設備を間接的に利用できるようになった人びと

うち、83万7,857人は、安全に管理された衛生設備を利用



基本的な手洗い設備の利用者

142万9,590人

正しい手洗いに必要な、水と石けんが整った手洗い設備へのアクセスが得られた人びと



政策支援 5件

ユニセフが支援した州政府の政策手段



融資

195万米ドル

消費者7万4,753人に融資

公的資金

34万1,460米ドル

能力開発や地元グループへの報酬のために活用された州政府による公的資金



MAKE A SPLASH! パートナーシップ

ナイジェリア：数字で見るインパクト



衛生設備(トイレ)利用者

33万6,142人

安全に管理されたトイレを利用できるようになった人びと(4,226個のSATO衛生ソリューションとその他2万211個の商品販売によるもの)

671の地域がODF(屋外排泄根絶)認定



基本的な手洗い設備の利用者

29万9,643人

正しい手洗いに必要な、水と石けんが整った手洗い設備へのアクセスが得られた人びと



能力開発と啓発

87人

管理された衛生設備のモニタリング、導入や設計を支援する研修を受けたステークホルダー

ピット汲み取り業者向けの専門的な研修も含む



SATOの販売台数

4,226台

購入されたSATO製品(28個の水栓、4,015台のパン、183台のスツールを含む)



融資

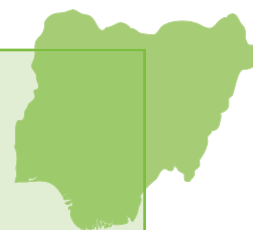
2万1,739米ドル

衛生改善に投じられた州政府予算

消費者1,689人が衛生融資の仕組みを利用できるように支援



© UNICEF/JN0775620/Apochi Owoicho



MAKE A SPLASH!パートナーシップ
インドネシア：数字で見るインパクト



融資

8つ

本パートナーシップにより入手可能になった消費者主導の衛生(金融)商品



© UNICEF/UN0640449/Wilander



政策支援

3件

ユニセフが支援した国家・地方政策



情報管理システム

3つ

強化されたデータ・情報システム



啓発

9人

SMSシステムの監視、実施、設計を支援するための研修を受講したステークホルダー



© UNICEF/UN0640450/Wilander

MAKE A SPLASH!パートナーシップ
タンザニア：数字で見るインパクト



衛生設備(トイレ)利用者

104万2,069人

少なくとも、基本的な衛生設備へのアクセスが得られた人びと

うち5万6,779人がSATOを直接利用し、98万5,290人が能力向上支援、金融サービスの公平な利用促進、需要創出活動を通じ間接的に恩恵を享受



© UNICEF/UN0753216



基本的な手洗い設備の利用者

82万2,441人

SATO Tap 3万台の寄贈などにより、正しい手洗いに必要な、水と石けんが整った手洗い設備へのアクセスが可能になった人びと



学校
24校

1万4,480人の生徒が衛生施設の修復や改善の恩恵を享受



SATOの販売

1万7,000台

購入されたSATO製品



融資

159人

消費者が衛生融資の仕組みにアクセスするための支援を受けた人びと。支出総額は3,422米ドル



United Nations Children's Fund
3 United Nations Plaza
New York, NY 10017, USA

www.unicef.org
www.unicef.org/partnerships/lixil

© United Nations Children's Fund (UNICEF)
July 2023